

人口と世帯

52.11.1.現在

(前月比)

男 5,762人 (+7)

女 6,088人 (±0)

計11,850人 (+7)

世帯数2,759(+2)

みくに報

発行 / 国見町役場

編集 / 企画課

福島県伊達郡国見町

大字藤田字一丁目二

2 / 1 ☎969-17

電話藤田(024585)2111(代)

昭和52年11月15日

No. 53



'77
11月

おもな内容

- 町政功労者を表彰..... 2
- 医療費の支出は10年で6.7倍に... 3
- 若人の翼に参加して
- 明るい社会募集作文発表..... 4
- 小坂の地蔵さまきたぞい..... 5
- 公民館だより..... 6~7
- 食生活のしおり
- ふるさとの歴史をさぐる..... 8
- ほ場整備事業の今後の課題..... 9
- 国見町史第一巻を見て..... 10
- 教育委員を任命..... 11
- おしらせ..... 12

国見電子株式会社

斎藤秀子さん (19歳)

(大木戸字国見山3. 昭保さんの長女)

国見電子は東芝系の電子部品メーカーとして昭和44年創業以来早や8年、現在 210名の社員がさまざまな製品を広く世界に送り出しています。

彼女は、今春入社したばかりのピチピチしたフレッシュガールの一人です。現代っ子らしいきはきした言動、屈託のない笑顔、そしてその笑顔に浮かび出した青春のシンボル……なに一つとっても、まさに躍動する19歳の青春の息吹を感じます。

職場では、持ちまえの明るさと素直さで、マスコットガールとしてかわいがられています。仕事はまだ覚えたての段階ですが、何事も真正面から取り組み、努力している姿は好感が持たれます。

今後一層の成長が期待される彼女です。

林さんらに表彰状

町発展につくされた功労者



勢ぞろいした受賞者のみなさん

菊花がおるさる十一月四日、町表彰規定に基づく町政功労者の表彰式が、町民福祉センターで行われました。

これは、町の政治、経済、産業文化、社会など町政各般にわたって尽くしてこられた方々を顕彰しようと昭和四十二年に定めたもので、こゝして第十回目を迎えます。

この日表彰されたのは、消防団員、部落会長、町職員の方々四十三名で、それぞれ要職にあつて長年にわたつて町の発展に貢献してこられたその功績と榮譽をたたえました。

消防団員は、団長をはじめ幹部を中心として一致団結、消防力の充実強化を図るとともに、昼夜、厳寒、酷暑の区別なく防火思想の普及など、地域住民の尊い財産を守つてきました。

また、部落会長として表彰された方々は、町の末進行政の連絡や手伝いなど、奉仕的精神を貫かされてきました。

さらに、永年勤続職員として受賞された方は町の公僕として職務

に精励してこられました。

式は午前十時から始められ、助役の開式のことばに続き、町長が今までの労をねぎらい「これからも町の発展に協力してほしい」と式辞を述べました。そのあと表彰式に移り、四十三名の方々一人ひとりに町長から表彰状と記念品が手わたされました。

来賓からは、福島地方行政連絡室長、菊地町議会議長の祝辞があり、受彰者を代表して林元治さんが「これからも町のために努力します」と答辞を述べ、式を終わりました。

受彰者は次の方々です。

(敬称略)

消防団

▽本団

林元治 大波治男 熊坂栄一

▽第一分団

安藤良一 仲野周一 仲野周一

佐藤忠雄 高橋照治 阿部三義

嶋田安蔵 佐藤俊雄 佐藤惣一

高原庄一 武田衛 大内善次郎

古内吉蔵 佐藤喜代重 山田豊吉

菅野一男 嶋田善三郎 嶋田忠二

菅野正 高野喜平

▽第二分団

渡辺富男 阿部和平次 岡崎長平

佐藤忠美 阿部重男

▽第三分団

蓬田正敏 武田孟 吉田平次郎

佐藤正衛 津田吉次 太田久吉

▽第四分団

佐藤英治

▽第五分団

長谷川正男 斎藤昭保

部落会長

高橋外記(山崎北) 武田龍尾(第三)

斎藤義吉(第四) 実沢平作(第八) 松浦芳蔵(大木戸)

町職員

大津隆男

農林大臣より

感謝状

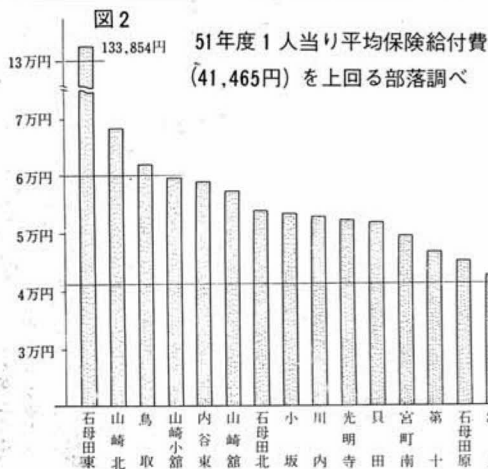
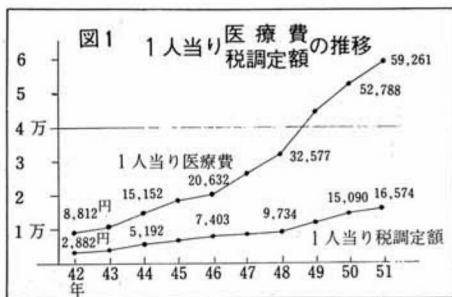
徳江の佐野さん



さる十月二十一日、東北農政局福島統計情報事務所より農林統計に協力したとして、農林大臣感謝状が伝達されました。

感謝状を受賞されたのは、わが町では佐野富雄さん(徳江字山神43)です。

佐野さんは五年間、米生産費調査農家として経費の内容や動きなどを調べ、農業統計に貢献しています。



医療費の支出は10年で6.7倍に

—国民健康保険—

昭和五十一年度国見町国民健康保険事業の医療費の現状についてお知らせいたします。

医療費総額は三億九千七百八十八万円で、これを一世帯当りにすると二十二万五千七百七十円になり、加入者一人当り五万九千二百六十一円を医療費として支払った計算になります。

この医療費は患者個人が一部負担(三割)をしたほかは、みなさんが納めた国保税および国からの補助金などによってまかなわれていることはご承知と思います。

過去十カ年の推移をみると図のようになり、昭和四十二年には一人当り八千八百十二円であった医療費が、五十一年には五万九千二百六十一円と、六・七倍にはね上がり、国保税も五・七倍にスライドして増えております。

正しい受診と工夫で医療費の節約を

このように、医療費の額が年々多くなる原因はいろいろあります。一部負担などの制度改善によって医療機関の窓口で支払う金額が格安なことから安易に医療機関を訪れたり、はなはだしい場合は一日に二、三回の医療機関のハシゴ受診をする人もみられます。このようなむだな診療の影響も見のがせない一因です。

健康地区は森江野

図2は昭和五十一年度の診療保険給付費を部落別に集計したうち平均を超えている部落をあらわしたものです。

国見町の健康地区は森江野地区だとおわかりになると思います。また、平均を超えている部落について見ますと、全体に言えることは、町が行っている住民健康診断事業、成人病検診事業の受診率が低い部落ということで一致しております。

医療費は年々ふえる一方で、国保の台所もたいへんになり国保税の引き上げになるわけです。税負担を少しでも抑え、安心して治療を受けられるようにするに

水道事業	歳入	歳出	差引
収益関係	65,416,454	53,808,000	11,608,454
資本関係	1,191,300	13,739,657	12,548,357

資本的収入額が資本的支出額に不足する額12,548,357円は、過年度分損益勘定留保資金 3,076,260円建設改良積立金 4,000,000円及び当年度分損益勘定留保金 5,472,097円で補てんした。

会計名称	歳入	歳出	差引
国民健康保険	368,546,752	328,427,572	40,119,180
貝田簡易水道	7,764,287	5,810,486	1,953,801
育英	2,409,626	1,504,000	905,626
入山財産区	3,109,496	2,916,139	193,357
大木戸財産区	629,354	135,270	494,084
藤田財産区	597,753	338,660	259,093

は適正受診が大切です。国保税金納とともに適正受診についてみなさんのご協力をお願いいたします。

心に残る ドイツでの民泊

若人の翼に参加して 八巻忠義

九月四日に羽田を出発して十五日間、西ドイツをはじめ八カ国をコース別に訪問して来た。
先進国ヨーロッパの現実を見て私は、新しい自分とわが日本を見なおすができた。その中で、特に、私の最大の目的である西ドイツの民泊を通して感じたことを述べてみたいと思う。

片ことのドイツ語で始まった生活、辞書を片手に一時間も過ぎたころうか、大部慣れ、気持ち通じたときの嬉しかったこと。

この三日間の民泊は、ドイツ人になつたつもりで生活しようと思つた。次の日の教会、街並におけるショッピング、西ドイツでの一日のバカンス、最後の夜のサヨナラパーティーをしていただいたとき

の感激、ドイツ人の明るく陽気なこと、夜のふけるのも忘れて過ごした。

西ドイツ歓迎のセレモニーにおいては、初めに両国歌が流れ市長さんのあいさつが印象的であった。「若い日本の青年の果たしていることは単なる訪問ではない。世界の平和というものは小さなことから始まる。今、西ドイツの青年と日本の青年との間で国際親善が深められている。私たちは小さなことでも大事にして行かなければならない。その機会にめぐりあつたことを誇りをもってがんばってほしい」。

世界的に有名なフォルクスワーゲン社を訪れ、ある労働者に質問したところこんな言葉が返ってきた。



西ドイツにて (一)

た。「私はドイツを愛している。

だから、この会社もこの車も好きだ。私の車はあのワーゲンだよ」と、連れて行って説明までしてくれる。私たちには考えられないほどの愛国心とドイツに対する誇り

を持っていることが感じられた。古いものを大事にし、使えるだけ使うというドイツ人の気質には私たちが見習う必要がある。

私はいろいろな形でドイツ人を想像してきたが、民泊を通して私

なりに理解できるようになったことは、私の人生にとって大きな収穫といえる。この貴重な経験をもとに、地域社会の発展のためにがんばっていきなれと思う。
(公民館主事)

明るい社会

専集作文発表

ぼくたちにもできる 明るい町づくり



藤田小学校 2年
羽根田 修

になあとぶつぶついながら、ぼくは「ぼん後ろからついていきましょ」。

りしていたおかあさんもなんだかうれしそうに何かはなしてしました。その人は、六年生のともだちのおとうさんでした。ぼくのおとうさんは「かんしん人だなあ」とほめていました。そして「みんなであいさつをすれば、心がうじあうようになるんだよ」とおしえてくれました。

ぼんかんにはいつたら、りよかんの人がにこにこしながら「いらっしゃいませ。どうぞどうぞ」といきました。そしてらりよかんの人は、ぼくにも「ぼうや、いらつしやい」といつてくれました。ふくれていたぼくも、みんながにこにこしているのでも、「こんにはは」といきました。おぼさんやちえちゃんたちが、にこにこはなしてました。みんなにつられて、ぼくも雨のことなんかわすれてしま

はばした。ぼくは、いままできんじよのおぼさんにあつても、なんだかはかしてじようずにあいさつができませんでした。いつも、いわれから小さな声でいつていました。でも、きようからは、ぼくのほうからさきにあいさつをしようと思

ぼくたちの学校のあいことばに「にこにこあいさつ」というのがあります。どりよくじこうにしたどりして、みんなができるようにどりよくしています。ぼくは、まだあいさつはむずかしくて、そんなにじようずではありません。

ぼくは、あいさつをしてわらうました。それは、つぎの日もこんなことがありました。りよかんを出て町へかいものに歩きました。うにいいなあと思いつた。にこにこあいさつは、ぼくたちにもできる明るい町づくりになる

と思います。

この前、こんなことがありました。ぼくが、うちの人みんなとおんせんに行ったときのことです。おんせんについたら雨がふつていました。つまらないなあ、晴れてい

ればよるにかいものにでられるの

とありました。それから、つぎの日もこんなことがありました。りよかんを出て町へかいものに歩きました。うにいいなあと思いつた。にこにこあいさつは、ぼくたちにもできる明るい町づくりになる

小坂の地蔵さま 今きたぞい

子どもたちと町をひとまわり



小坂地区には昔から伝えられている子育て地蔵があり、毎年旧暦の九月十五、十六日はお祭り日です。

子育て地蔵は現在十六体あり、子どもが健やかに育つようにと、家々に借りられていて、子どもたちに暖かく見守られています。そして祭りの日が近づいてくると、新しい着物を着せられて、年に一度里帰りをします。

「こゝさかの、じぞさま

いまきたぞい

よいまつりにもつてきた地蔵は、子どもたちにつれられた町をひとまわりし、町の人たちは、おさい銭やお供物を持って地蔵を迎えます。

行列は、途中お宿といわれるところにひと休みし、行列が終ると



地蔵さまにお供物やおさい銭をあげる

松蔵寺(小坂)でお経をあげてもらいます。そして、祭りが終るとまた一年、地蔵は子どもたちのところに帰って行くのです。いつ頃から今のようになったのか、くわしいことを知る人はだれもいません。地蔵堂には、るす地蔵一休だけが残ります。

節約セツヤン



低温出火

11月26日から
12月2日まで 秋の全国火災予防運動

使う火を消すまで離すな目と心

「低温出火」という言葉をご存知ですか。

木材に熱を加えると、ふつうは四百二十度前後で発火します。ところが、熱がたまりやすかったり伝わりやすい場所などの条件が重なると、わずから百度前後の低温でも出火することがあります。

つまり、とても火事になるなんて考えられない低い温度(百〜二百八十度)でも、ある一定の条件がそろい、とくに長時間加熱すると、やがて熱分解を起こし、ついには発火するというわけなのです。これが「低温出火」です。低温出火のおそれのある場所を

あげてみますと――

- ①煙突が貫通している壁、あるいは屋根、②ガスコンロの底面やまわりの壁、③スチームパイプの接触部分などがあります。
- 以前、東京にあるベニヤ板製造工場の乾燥庫で、ベニヤ板を約百九十度の蒸気で乾燥させていたところ、約十五時間くらいたってから、乾燥庫内の隅にたまっていたオガクすが加熱されて発火、火災になったという例があります。
- 温度が比較的低いといっても長時間熱が加えられると危険です。出火の恐れのある場所には断熱材を使うなどの細心の注意をしてください。



国見町園芸愛好会



手芸クラブ



カメラクラブ



習友会

力作ぞろいの作品展示会

国見町文化祭

秋の深まりとともに、国見町文化祭が催されていますが、文化の日を中心に、町民体育館では恒例の作品展示会が開かれました。

作品は、盆栽、書道、絵画、生花、写真、児童作品や老人クラブ作品など会場いっぱい展示されました。

日ごろの趣味を生かして創作したもの、毎日の生活で必要から作ったもの、昔から使われてきたわら工芸品などさすが力作が多く、家族づれなど、訪れる人々の目を楽しませてくれました。



上 駅前の齋藤惣次さん(77歳)が作った大坂城ダンボールに木の皮やくず、いわしば、こけ類をはりつけた

下 塚野目の野田善実さんが作ったしめなわ



国見町公民館

電 函2676
 話 南4156

10月の利用者
 センター 2,376人
 体育館 1,803人



小学生の作品も
 たくさん出品された

告知板

(明治学級) 11月30日(水) 役員会
 (中央婦人学級) 11月28日(月) 料理教室 鍋料理
 議会傍聴
 (青年学級) 11月26日(土) 127日(日) 宿泊研修 福祉センター



森江野小学校 大木戸小学校

玉	木	玉	り	り	り
家	家	家	家	り	り
泳ぐ	泳ぐ	泳ぐ	泳ぐ	せみ	せみ
誠実	誠実	誠実	誠実	せみ	せみ
				光	光

伝 町内一周 駅

優勝は森江野チーム

小春日和の穏やかな気候にめぐまれた十一月六日、町内一周地域対抗駅伝大会が開催されました。これは、町民がスポーツに親しむと同時に地域の親睦を深めようと、町公民館、町教育委員会、町体育協会が主催して行ったもので九チーム、七十二人が参加しまし



表彰される森江野チーム

た。スタートに先立ち、佐藤町長や桑折警察署の山際署長などがあいさつ、選手たちの健闘を祈りました。そして午前十時三十分、福祉センター前をいっせいにスタート。コースは町内一周二十二・七キロの山間部もある起伏に富んだコースですが、いずれもフアイト滴々練習不足のせいとお腹をかかえながら走る風景もみられました。沿道の盛んな応援を浴びて、ひとりの故障者もなく終了しました。

なお、この町内駅伝は昭和四十二年以来の十年ぶりの復活ですが、今後は町の行事の一つとして続けて行くそうです。

成績は次のとおりです。
一位 森江野チーム



沿道でも盛んに応援（森江野地区）

区間最高タイム

第一区(センター→泉田)	鈴木 英二(川内)	7分32秒
第二区(泉田→川前)	佐久間 敏雄(森江野)	13分49秒
第三区(川前→石母田)	佐藤 秀世(石母田A)	10分14秒
第四区(石母田→町境)	穴戸 浩二(森江野)	16分51秒
第五区(町境→西大枝)	大竹 五郎(滝川)	6分14秒
第六区(西大枝→大木戸)	遠藤 国夫(西大枝)	3分34秒
第七区(大木戸→徳江)	本間 実(森江野)	8分25秒
第八区(徳江→センター)	玉手 幸平(西大枝)	11分48秒

- 二位 石母田Aチーム 1時間22分19秒
- 一位 森江野チーム 1時間23分48秒
- 三位 西大枝チーム 1時間28分51秒

あつかし俳句会

昭和五十二年十月二十二日

- * 墓どころ影黒くして秋ざくら
- * 柿稲架の月下に祈るごと立てり
- * 木屐の濡ふ踏次を急ぎけり
- * 寂しくてやがて哀しき捨案山子
- * 紅葉の日毎濃く夕まぐれ
- * 白鷺の一羽とびたつ雲の峯

- 奥山 甲二
- 斎藤 黄鶴楼
- 熊田 一陽
- 藤田 勝衛
- 野村 かし
- 加藤 痴仏
- 奥山 甲二
- 斎藤 黄鶴楼
- 熊田 一陽
- 藤田 勝衛
- 野村 かし
- 加藤 痴仏
- * 参道にいか焼き匂う村祭り
- * 蠶郷の身がましま、枯れてあし
- * 草紅葉十六羅漢たるる徑
- * 菊咲かせ静かに老ゆる今日の幸
- * 髪そめて老をあさむり秋扇
- * 芒原時の下は町いそむ
- * 夕焼や児等それぞれに草虱
- * 十六夜内職をしてわびしかり
- * 十和田湖や渚さの紅葉水にふれ
- * 古里に吾が名老いたりちろ虫



八甲田山にて

最終日の小岩井農場では、しばらくたてのような牛乳がうま、雄大な景色(後には岩手山が見えるのです)、広い空と草原、あのよなところまで一日のんびり過ごしたいと思いました。(こんどは二人で来ようっと)。

青年学級たより

九月二十二日から二十五日までかけて、青年学級生総勢十九名が、十和田・八幡平方面へ修学旅行に行ってきました。三日間とも快晴に恵まれ、とてもすばらしい旅行

でした。

見学先は、八甲田山、八幡平、奥入瀬渓流、十和田湖、田沢湖、小岩井農場です。奥入瀬渓流では途中の「雲井の滝」というところでバスから降り、終点の「子の口」まで約一時間半歩きました。木の葉のすまみからこぼれる光がとってもきれいで、澄んだ川の水が冷たく、また途中に見られるいろんな滝がすばらしく、今でも目に浮かぶようです。でも残念だったのは紅葉に少し早かったことです。(残念だなあ、ほんとに)。

- 須田 泰山
- 奥山 雨田
- 小野寺 萬水
- 阿部 享司
- 佐藤 國權
- 阿部 しげ
- 羽賀 えい
- 赤間は 金子
- 角田 昭子
- 菅野 かね子
- 森田 栄子

食生活のしおり



私たちが日本人は昔から味覚にすぐれた民族だといわれてきました。しかし最近のインスタント食品の普及で、こうした伝統も次第にその影が薄れ始めています。

長い時間の中で世代から世代へと受け継がれてきた「味の文化」は、一方で料理のこだわりをも伝えてきました。いわば秘伝の料理「トラの巻」といえますよ。

▽サンマが出るよ
アンマが引込む
栄養豊富な秋一番の味覚。サンマが出回ると元気もあり。アンマいらずになるという。

▽はまぐりは水から
あさりには湯から
材料の持ち味を上手にいかす具汁の調理の順序。はまぐりはいき

なり湯に入れると口があきません。

▽ぬかみそは日3回
ぬか漬の味と香りのもと。乳酸菌の働きをよくするため、酸素を十分に補給してやりましょう。

▽うまいまじい塩かけん
ほんのひとつまみの塩が、材料の持ち味を引き立てます。逆に塩からくって食べられません。分量はもちろん、入れるタイミングも大切です。

▽みそ汁のみそは
火からおろす直前にみそ汁を煮立てては、せつかくの香りが飛んでしまいます。このタイミングがみそ汁のうまいまじいをきめます。

▽時給の重箱に焼いも
見せかけだけの豪華でなく肝心なのは、中味の味と栄養

▽さし油する料理、下手
使い古しの油に新しい油をつぎたしするのはまったく無意味。新しい油もたらまら酸化して台無しです。天ぷら揚げは四回が限度。

▽なますは夕刻み
千六本はヨコ刻み
同じ大根も、きざみ方を変えるだけで味わいも違ってくるから不思議なもの。

《ふるさとの歴史をさぐる》 ⑥ 菊池 利雄

中世の西大枝郷における地頭と在家百姓

(下)

「采地下賜録」によれば、植宗受の瀬戸越中は、乱後大枝にあった屋敷・手作地が没収されて失脚し、越中は現在この村の上台近辺に住まわれる瀬戸氏一族の先祖とみられる。

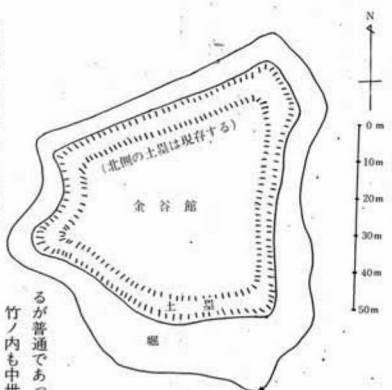
前記の「野伏日記」には、下金谷に伊達氏の下級家臣である名懸中村助一郎と、在家百姓佐藤彦十郎の名がみられる。

中村氏(東大枝尾高松中村久右工門氏先祖)は伊達氏の大崎移封に伴って帰農し、この地にとどまったものと思われる。家の伝えによれば、上杉領となってから元和年間(青木溜池が築かれる際、井砂某(井砂吾吉氏先祖)と中村氏の屋敷が堤の用地にあてられることになり、現在の屋敷地に移転したといわれている。

佐藤彦十郎の下金屋在家跡はこの地の草分けとされ、旧名主家を務めた佐藤正雄氏の旧宅地と思われる。土塁の一部や幅二水をたて、堀は昭和の初め頃までは水をたえており、この地方に現存する数少ない中世農民の在家遺構である。

その他西大枝郷には、市兵衛館露沢館、根岸館(佐藤重吉氏宅は

「采地下賜録」によれば、植宗受の瀬戸越中は、乱後大枝にあった屋敷・手作地が没収されて失脚し、越中は現在この村の上台近辺に住まわれる瀬戸氏一族の先祖とみられる。



国今太郎左衛門居館・金谷館、(明治の地籍図によって作制した)

した地割である。兵農分離が進まない当地の武士達は、屋敷地の周辺に自身であるいは下人を使用して耕作する、門田・畑といわれる手作地を所持するが普通であった。

竹ノ内も中世の在家名と考えられるが、在家については後日稿を改めて取り上げてみることにする。本稿を草するにあたっては、地元佐藤豊太氏の助言を得た。

参考文献

- 国見町史(Ⅱ)、伊達家文書、伊達正統世事考、伊達世臣家譜、伊達晴宗采地下賜録、福島県史(七)



福島大学の小林教授の御教示によれば、中世の小地頭層の屋敷は三反歩が普通とされ、水口屋敷の広さ三反歩は条里の坪(一町方角現面積にして一町二反)を四等分



11月 霜月(しもつき)

- 19日・農協記念日・鉄道電化の日
- 21日・寄生虫予防運動
- 22日・小雪
- 23日・勤労感謝の日・火災予防運動
- 28日・税関記念日

12月 師走(しはす)

- 1日・歳末助け合い運動・映画の日・年末年始の防災運動
- 4日・人権週間
- 7日・大雪
- 8日・こと納め・針供養
- 10日・世界人権デー

木枯らし シベリア産やオホーツク産の高気圧が優勢になって日本列島東部の低気圧に冷たい風が吹き込むため、日本海側は雨、みぞれ雪が多くなり、太平洋岸は乾燥した空気がからからに乾いてきます。温度も低くなつたため、活動が弱まっています。冷たく乾いた風が吹きつけるのですから、いわゆる木枯らしの現象が出て落葉が風に舞い、季節感のうすれた都会人をもせてくれます。

九月の「広報くにみ」で、地域農政特別対策事業等の項目を、みなさま熟読されたと思います。そうした中でわが町も先祖伝来のいままでのあの小さな田んぼ一枚一枚が、今ももう一枚三反歩、すなわち幅三〇び、長さ一〇〇びと正に驚異的な超大型となりまして、七〇歳を越えている先輩の方々

いるきようこの頃です。本年春には、田植前に仮換地を受け一時利用していますが、米春には本換地となります。畦畔を中心に上下を受ける人や丸一枚にならず一、二びが他人の換地といったようにさまざまな本換地があるうと想像している現状です。このことについて私は、農家個人がよりよい経営するために、

でも借入金の中で中断する現状と思われまふ。そのような現時点の制度資金は、農業後継者が同一世帯に住んでいて農業を営んでいる場合にのみ自作農資金を貸与されることであり、後継者が兼業の場合は、その制度資金が貸与除外となるのです。私は、農業会議の総会がすすめて、現在の農家は兼業がますます



ほ場整備の今後

期待する

藤田字中沢六 佐久間 英明

は涙を流すほどつらい思いをして昔のあのリヤカー道、そして曲がり曲がった近道を自分自力で「オサ」通して大きくした田んぼで、それが今では幹線が六び幅、普通で四び幅、リヤカーなどは見当らず自家用トラクタが駐車して

お互いの話し合いによる譲渡(農地法第三條耕作権移転)が必須条件となろうかと思われまふ。そうした場合、小さな面積はたいてい苦もな売買もできませんが、一〇アール以上となれば金額もかさみ、経営規模の拡大を考えてい

多くなり、専業農家は一割にも満たない現状にあるので兼業農家にも安い金利(年三%)で規模拡大を図れる農業を推進してもらいたい旨の動議案を質問し、即時総会の決議案件として全国農業会議所宛申請されました。

また、わが町は五〇アール未満の耕作者は譲受けなどはできないが、農地の交換分合の点はお互いに耕地の集団化をモットーに、町農業委員会の事業の一端として委員が仲介に入り、その実現に努力しています。

土地のことなら各地区の農業委員に必ずご相談下さるようお願いを申し上げるとともに、農業の近代化に向かって悔いのない農業経営を推進することが至命と思っております。(国見町農業委員)

また、税理士会、日本税務協会、青色申告会、法人会、間税協力会、納税貯蓄組合、商工会議所、商工会などの民間団体においても「税を知る週間」の協賛行事として、講演会、税法説明会などが予定されています。

心配ごと相談日

場所: 役場車庫二階

時間: 9時-12時

こまつたことや心配ごとがありましたらお気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

[相談員]

- 11月25日(金) 恒で郎ヨ勝ち穩ク
- 12月5日(月) 俊ひ市ハツ
- 12月15日(木) 朝内野上藤
- 12月24日(土) 佐久間内阿部



税を知る週間

国は、わたしたち国民の幸福と繁栄のために幅広い活動を行っています。税金は、このような活動の大切な財源であり、わたしたちの日常の生活においても、いろいろなかかりあっています。

このような国民生活に深いつながりを持つ税金の仕組みや使いみちなどを、国民のみなさんに正しく理解していただくために、国税庁、国税局、税務署では、十一月十一日から十七日までを「税を知る週間」として、①納税者に有利な税知識の普及、②税務相談など税についてのいろいろな行事を全国一斉に行います。

子孫に残す最高の文化遺産

—国見町史第一巻を見て—

「お家の宝として全町の書架を飾ろう」とのキャッチフレーズ、永すぎたと思われる七年の歳月と莫大な町費をつかってつくられた国見町史が完成し、その総集編ともいふべき第一巻「通史・民俗編」が近く配本されることになりました。役場の玄関から廊下にかけて山と積まれております。

「希望者にはもれなく」との親心から、もう一度予約者の確認をするため、配本は十二月十日頃になるそうです。わざわざ立派なパンフレットまで作って各戸に配り、予約者もれを防ごうとしております。

何千年の大昔から、高速道路や新幹線の現在に至るまでのわが国見町のうつりかわり、山と積まれた資料の山（広報くにも九月号）二十カ所にもおよぶ遺跡の発掘調査、ことに町内百数十人の古老を動員しての民俗研究……等々。小林博士をはじめ、専門委員の先生方の深い研究によって、わがふるさとの姿は、いとも明快に浮き彫りにされました。

しかもそれは、中学生にも読め



全4刊と鈴木美一氏

る平易な文章で書かれ、きれいなカラー写真を含む一〇〇枚の口絵写真、これだけでも町の歴史の流れがある程度わかります。しかも全巻いたるところにつかれた数々百枚の記録写真、図説町史といっても決して過言ではありません。

ほんとうに国見町史は親しみやすく、読みやすい本です。明治・大正から昭和の初期にかけて活躍した故人、名士の顔がずらりと出てきます。〇巻〇〇ページ参照とあるので資料編を開いてみると、関係記事が文字もあざや

かに載っております。それを読んだらと本文の理解が一層深まるという仕組みになっております。国見町史は、読者の立場になつてつくられた親切な町史です。この一冊の通史をつくるために、「おもしろくない、わずかしい……」と、さんざん悪口をいわれながら三冊の資料編を刊行したわけがやつとわかりました。まわり道をしたようだが、実は急がばまわれだつたのです。

数千年の祖先の悲願がこもる、町民のための町史、地方史として

わが国における農業構造の改善対策は、昭和三十六年に制定された農業基本法によって根拠づけられたものである。以来、その具体的な推進方策として第一次ならびに第二次農業構造改善事業が国の助成のもとに継続実施されて今日に至っている。

そして、二次構は五十三年度の事業実施地区の指定をもつて終了しようとしており、今日、三次構ともいふべき次期対策の確立が待たれているところである。

今後の農政

農業構造改善次期対策に期待する

一次構、二次構は高度成長に対応し、規模の大きい生産性の高い農業経営をはかり、これらの経営が地域農業の中核的存在となることを目的としてきた。しかし、農家の農業ばなれの傾向が強まり、農家の多様化があらわれるとともに、農業の弱体化が見られ、一次構、二次構の目標は十分達成されたいがため、わが国の農業の体質を強化し、食糧の自給度の向上をはかるために、次期対策においては土地など資源の確保とその流動化、有効利用を促進しなければならぬ。

次に、多様化した農家がそれぞれの立場においてその機能を十分発揮できるような地域農業の組織化をはかることが重要な目標となつたのである。

念のためもう一度

は全国ピカ一というのも、決して過大評価ではないと思われれます。私たちは堂々と胸を張り、喜び勇んでこれをわが家の書架に飾り、最高の文化遺産として子孫に贈りたいと存じます。

予約者名簿に載っているかどうか念のためもう一度、部長皆さんにおたしかめください。また、部数をやりたい方も部長さんへどうぞ。余裕のある限り応じます。

教育委員に

吉田さんと斎藤さんとを任命



斎藤廣吉さん



吉田吉郎さん

前教育委員の任期満了により、十月一日をもって新しく吉田吉郎さん(石母田字上台27)と斎藤廣吉さん(森山字東新田16)が町教育委員に任命されました。教育委員は、学校教育、社会教育など教育行政全般にわたって、その向上と伸展のための仕事をしていきます。

農地行政に貢献

佐久間直次さんと

佐藤知子さん表彰される

農林省と農地改革三十周年記念事業会による記念式典が、十月二十一日、東京大手町のサンケイ会館において開かれました。

この式典において、わが町から農地行政につくしてこられた国見町農業委員会前会長の佐久間直次氏が記念事業会会長を、また、前農業委員会主任(現住民課長)の佐藤知子氏は構造改善局長賞をそれぞれ受賞しました。

また、十月二十七日、柳倉町で

[53年度版] 県民手帳と福島県のすがた 追加申し込み受付中



福島県民手帳

- ◆使いやすい日記編
- ◆最新の豊富な統計資料(人口、農商工業、財政、社会指標など都道府県と市町村)
- ◆日常に役立つ便覧(郵便番号、県内市外局番等)
- ◆頒布価格は250円
- ◆今回からサイズも大きくなり、日記編が広く、資料の活字も大きくなりました。

福島県のすがた

- ◆福島県の最新版地図23万分の1(7色刷)
- ◆県勢をカラー印刷で図表化し見やすい
- ◆各市町村ごとの統計資料が一目でわかる
- ◆折りたたみで使いやすい
- ◆頒布価格は200円

いづれも先に申し込まれた方はまもなくお届けします。そのほかにはほしい方は、早めに役場の企画課まで申し込んで下さい。

(☎21111 有4175)

今後の農業の発展にこれを生かして行きたいと、関係者一同奮起しております。



思いやりの心で運転 事故はない

藤田小5年

武田邦彦

飲酒運転は絶対にやめよう



善意の窓

町社会福祉協議会へ

◎福島酒費組合

関 誠一さん 三万円

(生福まつりチャリティショー) 益金

◎菊地清さん 東北中へ二万円

藤田小へ二万円

(故菊地勝氏の遺志として)

◎国見ライオンズクラブ

(会長大和田藤吉)

町運動場に備付ベンチ

氏名 部落(前住所)

- 安藤 正晴 前田
- 山家 裕美 福島市
- 八島 俊彦 滝山
- 加藤 和枝 福島市
- 佐藤 一則 貝田
- 森 久美子 宮崎県西都市
- 佐藤 春夫 第二
- 佐藤 悦子 第二
- 八島 新一 山崎北
- 庄司 茂子 山形県西村山郡
- 後藤 作男 宮町北
- 佐藤 二美枝 梁一
- 佐久間金雄 第一
- 小室美千子 宮城県白石市
- 寺島 重男 本町
- 高橋 貞子 月館町
- 鈴木 茂 川内
- 鈴木 郁子 福島市
- 佐藤 正二 泉田上
- 高橋 悦子 第十一
- 樋口 金雄 錦町
- 渡邊由美子 福島市

カップル誕生



お知らせ



稲こうじが

混入していませんか

今年も米の出荷期となりましたが、食糧事務所によりまして、昨年消費地に出荷した本県産米に稲こうじ病米が混入し消費地を不評をかっているという事です。稲こうじは出荷期の天候と場所によって発生しますが、特にセキミノリなどに多く発生しています。食糧事務所では、今年も稲こうじが混入した出荷米は検査をしない方針とこの事です。脱穀調整の時は稲こうじ病米の完全除去に努め、消費地で喜ばれる米作りを進めて下さい。

泣き寝入りせずに

頼もう審査会

詐欺、おとし、交通事故などの被害にあつて、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を裁判にかけてくれない。どうも納得できない。こんな不満をもっている

方はいませんか。そういう方のために検察審査会があるのです。

みなさんのまわりにも、検察審査会を利用すればよいのは、そのまま泣き寝入りしている人、あるいはそんなか。そういう人にもこの制度をおしえてあげましょう。

▼誰が申し立てるのか
申し立てができる者は、不起訴処分(検察官が裁判所に処罰を求めない処分)になつた被疑事件の告訴人、告発人、被害者等です。

▼いつどこへ
不起訴処分の対象となつた犯刑の公訴時効が完成するまでは、いつでも申し立てられます。申し立ては検察審査会事務局で受付ます。

▼手続は
特に定まつた申し立て書の様式はありませんが、申し立ては書面によつて、一定の事項を記載して提出すればよいのです。便宜上、事務局で記載事項を定めた用紙を差上げます。

▼費用は
審査の申し立てや、審査についての費用は一切負担し無料です。おこまりの方はお気軽に審査会にご相談ください。

▼検察審査会
次のところにあります。

- 千九六〇 福島市花園町五一四五 福島検察審査会事務局
- 福島三四一一二五六

「はがき」で

新型消火バケツを当てよう

あなたは、秋の火災予防運動の防火標語を知っていますか。知っている方は次の要領で募集していただきますから応募して下さい。

応募の方法
官製はがきに、昭和五十一年秋季全国火災予防運動統一標語と郵便番号、住所、氏名、年齢、職業を明記してお送り下さい。

あて先
千九六〇 福島市中町五の二一 福島県消防協会 火災予防懸賞係 申し込み

昭和52年12月10日(当日消印有効)
賞品
正答者一六〇名に新型消火バケツ(二千円相当)

発表

昭和52年12月20日から同年12月31日まで、県内各消防本部、消防署、消防分署などに当選者名簿を掲示するとともに、昭和53年1月発行の福島消防新聞に掲載する。

その他

その懸賞は、新しい標語を作つていただくものではなく、すでに新聞などに発表された昭和52年秋季全国火災予防運動の統一標語を答えるものです。なお、消防関係者は応募をご遠慮ください。

おめでとうございます

二十月中に届けられた(敬称略)

- (父の氏名) 子(の姓) (敬称略)
- 佐藤 隆昭 尚樹 山根
- 佐藤 國夫 理香 上野
- 佐藤 良明 明子 泉田上
- 松浦 邦雄 育子 錦町
- 賀藤 幸一 恵 第8
- 寺島 徳夫 康幸 大町北
- 一條 崇幸 大町北
- 松浦 定夫 剛志 大町南
- 太田 明 宏 大町南
- 飯塚 哲 涉 一山崎小館
- 齋藤 武徳 智恵子 員田
- 今野 芳雄 由美子 源泰山東
- 豊文 文男 由紀子 一
- 喜藤 文男 豊文 山根
- 菊地 傅五 博美 石母田西

おこやみ申しあげます

(二十月中に届けられた)

桂島 幸一	54	大町北
八島 富治	87	山崎北
松浦 留治	56	大町南
佐藤 つね	82	石母田表
菊地 勝	75	大町南
八島 藤作	84	高城
武田 松雄	58	泉田下

編集日記



○本格的な冬将軍がペリアアからやってきて、冷え込みは一段ときびしさを増してきました。ことしもあと一カ月足らず……。

「広報くにみ」もなるべく早く各家庭に届けようと思ひながら、追われてばかりの編集でついつい遅くなり申し訳なく思っています。それにしても、一カ月の何と早いことか……。 (ためいき)

○町では夏休みを利用して「明るい社会」という主旨で小学生に作文と標語を募集したところたくさんお寄せいただきました。子どもたちの目は実に素直に新鮮に事実を観察しています。私も含めて大人は反省させられる点が大いにあるといえます。学校が片寄っているのは残念ですが、これから毎月取り上げていきたいと思います。(K)

今月の納税

固定資産税

第四期